

医療・検査はしっかり対応します！

入院医療体制は十分余裕があります

- 現在、入院病床については652床(うち重症対応110床)を、宿泊療養施設については500室をそれぞれ確保しており、必要な入院医療体制は確保されています。
- また、重症者数についても現時点で4人であり、医療体制も逼迫していません。(これまでの最大重症者数32人：4/23及び4/27)。
- 今後とも状況の推移を注視し、適切に対応していきます。

検査体制は万全です

- PCR検査については、現在1,190件/日の検査実施が可能であるが、体制のさらなる拡充を図ることで、処理できる検査数を2,500件/日まで増強します。
- 保健所を介さずにPCR検査を実施できる「地域外来・検査センター」について、県医師会や地元自治体の協力ののもと準備を進めており、東播磨圏域および淡路圏域の2か所については、早急に開設します。
- 医療機関や社会福祉施設、学校などで陽性患者が確認され、感染の拡がりが見られるなど、クラスター(集団感染)の発生が懸念される場合には、濃厚接触者以外にも幅広く関係者を対象として検査を実施し、感染の拡大防止に努めます。

